

## 協力会社向けホームページのご紹介

パスワードを入力することによりアクセスできる会員制ホームページです。  
鹿島、鹿島事業協同組合並びに鹿栄会からの情報提供の場として、外注方針や各種施策などの周知を迅速に行います。  
情報提供サービスに加えて、ダウンロードが可能な鹿島の書式や帳票類など企業運営サポートページも掲載しています。

<https://www.kajima-tcia.or.jp/>

### 1 全国版

鹿島幹部のメッセージ、鹿島の外注方針、外注管理規定等が掲載されています。

### 2 帳票・検索

施工体制や労務安全帳票などがダウンロードできるほか、安全推奨品、送り出し教育、災害事例が閲覧できます。

### 3 各エリア

各エリアのサイトへは、こちらからアクセスすることができます。

### 4 ニュース・お知らせ

建設通信新聞に掲載された鹿島関連ニュースや、鹿島事業協同組合連合会、鹿栄会の会議開催報告など、新着情報が掲載されています。



## 鹿島事業協同組合ホームページのご紹介

組合員各社の採用活動支援のため、若年層をターゲットとした、スマートフォン向けのホームページを開設し、組合員と求職者を結びつけるツールとして活用しております。

- ・求人ページ： 求人募集中の企業一覧、企業情報、求人情報の詳細を掲載しています。
- ・各種ビデオ： 建設業の魅力の紹介映像、職種別に仕事の内容を紹介する映像、女性活躍支援映像等を掲載しています。
- ・パンフレット： 8 職種の仕事紹介パンフレットや施工パートナー等のデータを掲載しています。

閲覧は、以下のURL、QRコードをご利用ください。

<http://kajima-kyoren.com>



スマートフォントップ画面

求人ページ

### お問い合わせ先

鹿島建設株式会社 安全環境部

〒107-8348 東京都港区赤坂6-5-11 TEL:03(3587)9547

鹿島ホームページ: <http://www.kajima.co.jp>

|                           |                                        |                   |
|---------------------------|----------------------------------------|-------------------|
| 鹿島事業協同組合連合会(鹿島協連)         | 〒107-8348 東京都港区赤坂6-5-11                | TEL: 03(3587)9547 |
| 鹿栄会                       | 〒107-8348 東京都港区赤坂6-5-11                | TEL: 03(5544)0504 |
| 鹿島北海道事業協同組合(北海道単協)・北海道鹿栄会 | 〒060-0002 札幌市中央区北二条西4-1-3 札幌三井JPビルディング | TEL: 011(231)7443 |
| 鹿島東北事業協同組合(東北単協)・東北鹿栄会    | 〒980-0802 仙台市青葉区二日町1-27                | TEL: 022(261)9224 |
| 鹿島関東事業協同組合(関東単協)・関東鹿栄会    | 〒330-0844 さいたま市大宮区下町2-1-1              | TEL: 048(658)7872 |
| 鹿島東京事業協同組合(東京単協)・東京鹿栄会    | 〒107-8477 東京都港区元赤坂1-3-8 赤坂KTビル         | TEL: 03(6838)0307 |
| 鹿島横浜事業協同組合(横浜単協)・横浜鹿栄会    | 〒231-0011 横浜市中区太田町4-51                 | TEL: 045(641)8133 |
| 鹿島北陸事業協同組合(北陸単協)・北陸鹿栄会    | 〒950-8550 新潟市中央区万代1-3-4                | TEL: 025(243)3800 |
| 鹿島中部事業協同組合(中部単協)・中部鹿栄会    | 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-14                | TEL: 052(961)6125 |
| 鹿島関西事業協同組合(関西単協)・関西鹿栄会    | 〒540-0001 大阪市中央区城見2-2-22 マルイトOBPビル     | TEL: 06(6946)6987 |
| 鹿島中国事業協同組合(中国単協)・中国鹿栄会    | 〒732-0814 広島市南区段原南1-3-53 広島イーストビル      | TEL: 082(553)7905 |
| 鹿島四国事業協同組合(四国単協)・四国鹿栄会    | 〒760-0050 高松市亀井町1-3                    | TEL: 087(839)3017 |
| 鹿島九州事業協同組合(九州単協)・九州鹿栄会    | 〒812-8513 福岡市博多区博多駅前3-12-10            | TEL: 092(481)8002 |

施工パートナー 2021年7月発行  
発行: 鹿島事業協同組合連合会  
編集: 鹿島建設株式会社

鹿島の協力会社組織

# 施工パートナー



鹿島事業協同組合



鹿栄会

担い手の育成と安全性の向上で  
魅力ある産業を目指す

**in 鹿島**





# INDEX

## 巻頭言

p1

## 01 協力会社組織の位置づけ

p2

## 02 各組織の役割と歴史

p4

## 03 鹿島事業協同組合の事業内容

p6

## 04 鹿栄会の活動内容

p10



鹿島建設株式会社 代表取締役社長  
鹿栄会会長

天野 裕正

『鹿島事業協同組合』並びに『鹿栄会』の皆様には、平素より多大なるご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社では2021年度から新しい中期経営計画をスタートさせ、「中核事業の一層の強化」、「新たな価値創出への挑戦」、「成長・変革に向けた経営基盤整備とESG推進」の3つを計画の柱に、全社を挙げて様々な施策を展開しているところですが、私たち建設業に携わる者にとって喫緊の課題は、「次世代の担い手確保」「働き方改革」「生産性の向上」であると考えます。

また、当社は“安全管理等の徹底”を図るとともに“技能者の処遇改善”と“生産性の向上”を実現するために、重層下請構造の改革「原則二次下請までに限定した施工体制の実現」に挑戦していくことになりました。合わせて、「働き方改革」や「若い人に魅力のある職場」に向けて、“4週8閉所”の確保や“建設キャリアアップシステム”の推進と活用などの課題にも取り組んでまいります。

一方、当社は2020年8月、『パートナーシップ構築宣言』を公表いたしました。これは大切なパートナーである協力会社の皆様と共にサプライチェーン全体での共存共栄を図り、建設業界が直面する前述の課題の解決を通して、『魅力ある建設業』を目指すことを宣言したものです。すなわち、①技術者・技能者の処遇改善、働きやすい作業環境と職場づくりに努めて魅力ある建設業を創造し、次世代の担い手確保を目指すこと、②就労人口の減少や高齢化の中、身体的負担の大きい作業や危険作業などを機械化・ロボット化することにより、生産性の向上と安全・安心な作業環境を実現していくということです。

建設業の生産性は、これまで現場で働く技術者・技能者の皆様の「経験」に培われた「知恵」に負う部分が大きく、そうした「匠」の技はベテラン職長等が背中を見せながら個人に伝承されていく面が強かったと思います。今後、建設業全体の労働人口が減少していく中、生産力を維持・強化していくためには、自動化・機械化に加え、技術者・技能者や協力会社の持つ「知恵」を集めて我々業界全体の「知恵」として高め続け、次世代に伝承していく必要があります。

これら課題の実現に向け、ITやデジタル技術の助けを借りながら「技の伝承」をスムーズに実現していく一方で、集積した「知恵」を引き継いでいくため、その中心的役割を担っていただくのが協力会社の皆様、すなわち『鹿島事業協同組合』並びに『鹿栄会』という2本柱の協力会社組織にほかなりません。この2つの協力会社組織が両輪となり、当社の事業活動を支えていただいていることが、他社に例を見ない鹿島グループの強みであると自負しております。

鹿島グループが描く未来は、「パートナーと共に魅力ある建設業を創出すること」です。協力会社の皆様と手を携え、一体となって、働く方々の処遇改善や、安全で働きやすい職場環境の実現に努めてまいります。鹿島グループ、そして協力会社の皆様の更なる発展に全力を尽くす所存でございますので、ご協力とご支援をお願いいたします。



鹿島事業協同組合連合会  
理事長

徳間 昭則

鹿島事業協同組合は、1972年(昭和47年)、当時の鹿島守之助会長と渥美健夫社長の「鹿島建設の施工力の増強と、協力会社の組織化が急務」との指示により、1973年(昭和48年)に単位協同組合(単協)が、1974年(昭和49年)に「鹿島事業協同組合連合会」が設立されました。

これまで約50年にわたる歴史を積み重ねてこられたわけですが、これもひとえに鹿島建設からのご指導ご鞭撻と、歴代理事長をはじめとする諸先輩組合員の皆様方のご尽力によるものと深く感謝申し上げます。

当初、403社であった組合員数は、現在では約940社となり、労働災害における被災者への補償・救済を目的とする共済事業のほか、技術者・技能者の採用・育成・定着など、多岐に亘る事業を展開し、協力会社の経営基盤と生産力の強化をバックアップしています。具体的には、人材確保育成事業、経営技術指導事業、情報提供事業、教育訓練事業、共同購買(斡旋)事業、福利厚生事業といったものです。

建設業界を取り巻く喫緊の経営課題としては、就労者の高齢化、就労者・若手入職者数数の減少といった「次世代担い手確保」の問題があります。また、低い労働生産性、環境問題への対応など建設業界の固有の課題がある中、昨今は社会からのCSR(企業の社会的責任)やコンプライアンスの強い要請、各種法制度の改正など、外部環境の変化も著しい状況です。

特に、コロナ禍で浮き彫りになった「旧来のビジネスモデルの弱点」は記憶に新しく、感染症対策の観点からの省人力化・遠隔化に向けたロボット化やIoT、AI、DX利用などのIT化への対応は急務であります。「著しい環境の変化」を踏まえ、持続的な発展を遂げるためには、これらの新しい技術の有効活用は不可欠であり、従来の既成概念に捉われず、経営課題の解決に向けた新たな取組みを展開しなければなりません。

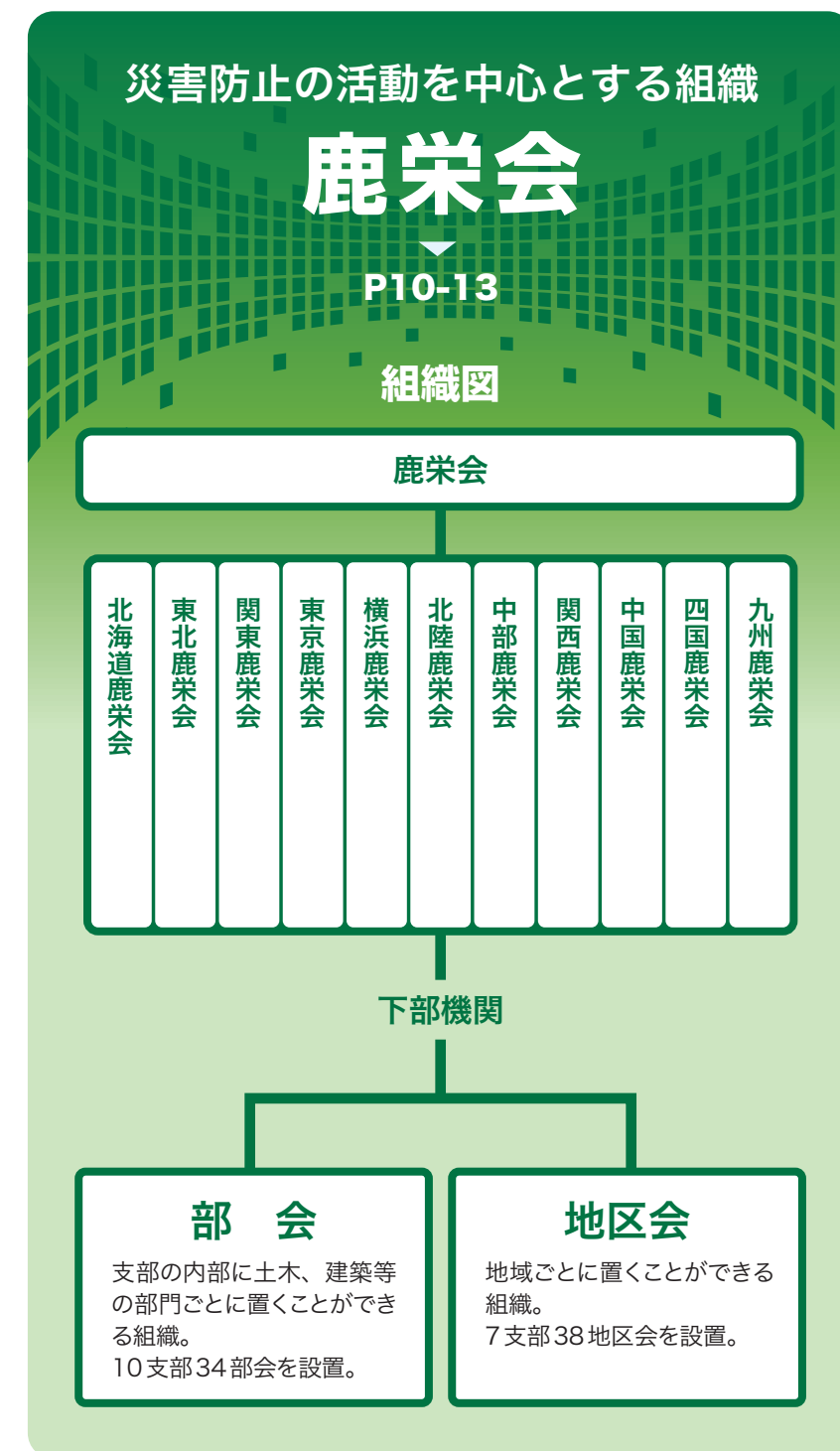
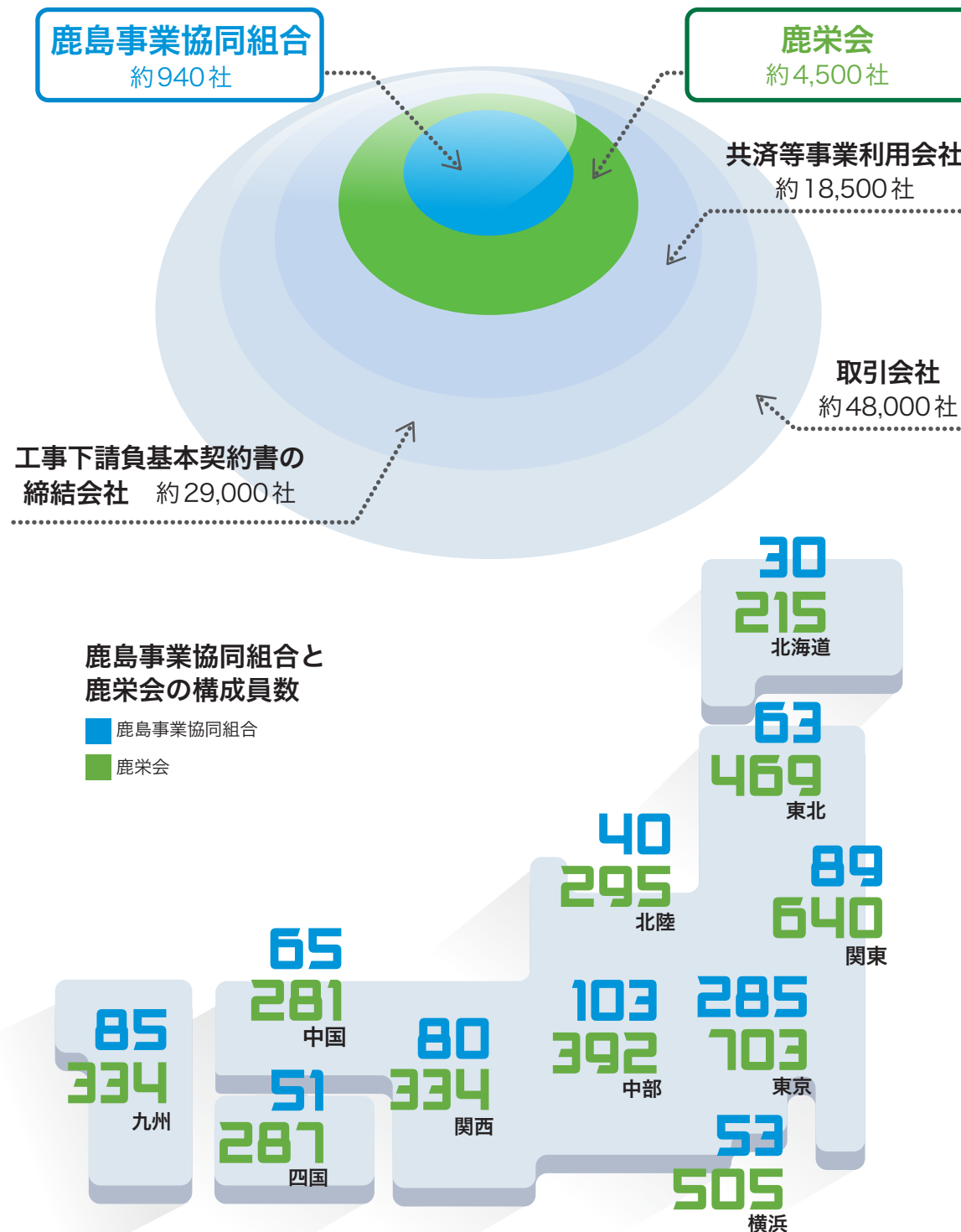
このような課題を克服すべく、鹿島事業協同組合連合会は鹿島建設の生産体制の中核を担う基幹的な施工系協力会社の組織として、鹿島建設との連携強化・意思疎通の円滑化を図り、また、相互扶助の精神に基いて建設業界で働く全ての人々の環境を改善するための活動をより一層発展させてまいりたいと思います。

今後とも、鹿島建設や関係各位の皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 01

## 協力会社組織の位置づけ

鹿島は「安心と安全」を提供することにより、お客様や社会から信頼していただける企業を目指します。  
 そのためには、品質と安全が確保された建設物を作り上げる「高い施工力」が求められます。  
 鹿島には鹿島事業協同組合と鹿栄会の2つの協力会社組織が存在し、それぞれの設立の目的・事業内容は異なりますが、ともに鹿島と一体となって「施工力」の強化に努めています。

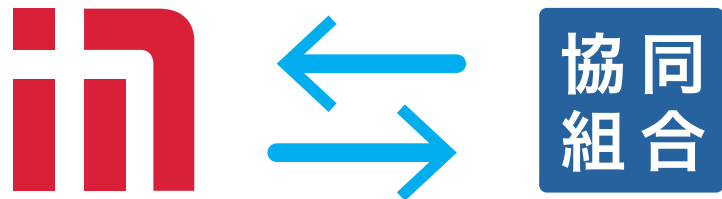






# 各組織の役割と歴史

法人  
**鹿島事業協同組合**  
約**940**社



## 経営基盤・生産力の強化

鹿島事業協同組合は「中小企業等協同組合法」に基づいた法人であり、1973年に単位協同組合(単協)が、1974年に連合会が設立されました。鹿島の生産体制の中核を担う施工系協力会社から構成され、相互扶助の精神に基づき、組合員自らが必要な共同事業を行うことにより、構成企業(組合員)の経済的地位の向上を目指しています。



**シンボルマーク**  
2002年、鹿島の旗の下、人々が力を結集することを表現したシンボルマークを設定しました。

## 設立からの歴史

| 年代    | 歴史                                                                                                                      | 人                                         |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 1970年 | <b>1972</b> 鹿島守之助会長「協力会社対策として協力会社の組織化は急務」との意向<br>鹿島守之助会長、渥美健夫社長に対し、事業協同組合設立にかかる経過報告、設立の基本的承認<br>渥美健夫社長「設立検討を実施に移すべき」と指示 | <b>1974</b> 北野豊吉氏初代理事長就任(北野建設(株))         |
|       | <b>1973</b> 建設省に対する設立趣意書、定款、事業計画書、収支予算書、設立同意者名簿等の説明<br>鹿島の各支店毎に事業協同組合の組織化<br>協力会社40社による設立発起人会                           | <b>1975</b> 中村哲次郎氏第2代理事長就任(中村工業(株)社長)     |
|       | <b>1974</b> 設立総会開催、建設大臣認可取得、代表理事北野豊吉氏法人登記により正式発足(会員数10、組合員数403社)<br>機関誌「いしずえ」創刊号発刊                                      | <b>1979</b> 浅輪重幸氏第3代理事長就任((株)浅岡工務店社長)     |
|       | <b>1978</b> 北陸単協の加入(会員数11)                                                                                              |                                           |
| 1980年 | <b>1984</b> 機関誌「いしずえ」50号達成                                                                                              | <b>1984</b> 篠原徳一氏第4代理事長就任(篠原建設(株)会長)      |
|       | <b>1989</b> 設立15周年記念式典、建設省建設経済局長から感謝状受領                                                                                 | <b>1989</b> 馬場幸秋氏第5代理事長就任(協拓建設(株)会長)      |
| 1990年 | <b>1992</b> 青年部(通称鹿世会)の設立総会開催                                                                                           | <b>1994</b> 煤津繁氏第6代理事長就任((株)煤津工務店社長)      |
|       | <b>1994</b> 設立20周年記念式典、建設省建設経済局長から感謝状受領                                                                                 | <b>1999</b> 白岩正通氏第7代理事長就任(白岩工業(株)社長)      |
|       | <b>1997</b> 機関誌「いしずえ」100号達成                                                                                             |                                           |
|       | <b>1999</b> 設立25周年記念式典、建設省建設経済局長から感謝状受領                                                                                 |                                           |
| 2000年 | <b>2002</b> 位置づけの明確化「鹿島の施工を支える中心的存在」へ                                                                                   | <b>2004</b> 川村哲夫氏第8代理事長就任(タイヨー建設(株)社長)    |
|       | <b>2004</b> 設立30周年記念式典、鹿島から感謝状受領                                                                                        | <b>2009</b> 大木勇雄氏第9代理事長就任((株)大木組社長)       |
|       | <b>2007</b> 「中小企業等協同組合法」改正<br>新規組合員674社が加入し、組合員数が948社となる(274社→948社)<br>共済事業の継続について国土交通大臣の認可取得(建設業界で初)                   |                                           |
|       | <b>2009</b> 機関誌「いしずえ」150号達成                                                                                             |                                           |
| 2010年 | <b>2014</b> 設立40周年記念式典、国土交通省土地・建設産業局長から感謝状受領                                                                            | <b>2017</b> 中里徹哉氏第10代理事長就任((株)中里工務店代表取締役) |
| 2020年 | <b>2021</b> 鹿島パートナーカレッジの開設                                                                                              | <b>2021</b> 徳間昭則氏第11代理事長就任(山田工業(株)取締役会長)  |



任意団体  
**鹿栄会**  
約**4,500**社



## 労働災害・事故の防止

鹿栄会は鹿島の建設工事に継続的に従事する協力会社(協力会社会員)と鹿島の関係役員及び社員(鹿島会員)から構成される任意団体であり、1975年、鹿島の各支店に支部、本社に本部が設立されました。鹿島と協力会社が一体となった災害防止活動を展開する他、会員相互の連携を深めることを目的としています。



シンボルマーク

## 設立からの歴史

| 年代    | 歴史                                                                                                                                                                                  | 人                                                                                                                                                                                  |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1970年 | <b>1975</b> 鹿島の支店毎に支部、本社に本部を設置<br>設立総会開催(鹿島会員32名、協力会社会員2,347社)<br>会報「鹿栄会」創刊号発刊                                                                                                      | <b>1975</b> 新莊剛三専務 初代会長就任                                                                                                                                                          |
| 1980年 | <b>1983</b> 会報「鹿栄会」50号達成<br><b>1985</b> 設立10周年総会                                                                                                                                    | <b>1981</b> 八木鐵男専務 第2代会長就任<br><b>1988</b> 小野和衛副社長 第3代会長就任                                                                                                                          |
| 1990年 | <b>1992</b> 会報「鹿栄会」100号達成<br><b>1995</b> 設立20周年記念表彰式・懇親会開催                                                                                                                          | <b>1990</b> 稲木昂副社長 第4代会長就任<br><b>1992</b> 関厚副社長 第5代会長就任<br><b>1996</b> 稲木昂副社長 第6代会長就任<br><b>1997</b> 坂本健次副社長 第7代会長就任<br><b>1998</b> 河内辰次郎副社長 第8代会長就任<br><b>1999</b> 川合勝副社長 第9代会長就任 |
|       | <b>2002</b> 位置づけの明確化「鹿島の建設工事に係る災害防止の団体」へ<br><b>2005</b> 設立30周年総会<br>「鹿栄会三十年史」を発刊<br>会報「鹿栄会」150号達成<br><b>2008</b> 本部規約の改定(会員・退会・会費等の規定変更、協力会社会員3,569社→約4,700社)<br>標準支部規約の制定(支部規約の統一) | <b>2002</b> 南谷修副社長 第10代会長就任<br><b>2004</b> 庄子幹雄副社長 第11代会長就任<br><b>2005</b> 中村満義社長 第12代会長就任                                                                                         |
| 2010年 | <b>2015</b> 設立40周年総会                                                                                                                                                                | <b>2015</b> 押味至一社長 第13代会長就任                                                                                                                                                        |
| 2020年 | <b>2021</b> 鹿島パートナーカレッジの開設                                                                                                                                                          | <b>2021</b> 天野裕正社長 第14代会長就任                                                                                                                                                        |



# 鹿島事業協同組合の事業内容



鹿島事業協同組合では、労働災害に伴う被災者の補償・救済、技術者・技能者の確保・育成、施工水準の向上などを図るため、各種の事業を展開しています。

鹿島との連携強化・意思疎通の円滑化、組合員の経営体質強化及び各種指導のシステム化を図り、双方にとって有益かつ効率的な環境を構築しています。

## 共済事業

### ● 労災上乘せ補償制度の展開

労働災害における被災者の補償・救済を行うため、死亡災害及び労働災害に係る障害等級別に以下の共済金を支払っています。

| 程 度           | 支払額     | 程 度       | 支払額   |
|---------------|---------|-----------|-------|
| 死亡、労災障害等級1～3級 | 1,500万円 | 労災障害等級9級  | 450万円 |
| 労災障害等級4級      | 1,200万円 | 労災障害等級10級 | 370万円 |
| 労災障害等級5級      | 1,050万円 | 労災障害等級11級 | 220万円 |
| 労災障害等級6級      | 900万円   | 労災障害等級12級 | 150万円 |
| 労災障害等級7級      | 750万円   | 労災障害等級13級 | 120万円 |
| 労災障害等級8級      | 600万円   | 労災障害等級14級 | 90万円  |

## 共同購買(斡旋)事業

### ● 安全推奨品の選定・斡旋

鹿島並びに青年部企画運営委員会推奨の安全用品・災害防止装置を廉価にて斡旋しています。



## 福利厚生事業

### ● 慶弔金の支給

### ● 五感いきいき運動の開発・展開

ヒューマンエラーに起因する労働災害・事故の防止を目的に、作業開始前の準備運動や現場でのコミュニケーションを活性化させるツールのひとつとして、独自のプログラムを開発し、全国の現場に展開しています。



### ● 技術者・技能者の計画的養成の推進

富士教育訓練センターが実施する各種教育訓練を積極的に活用し、訓練を修了した組合員には受講料の一部を助成して組合員各社の人材育成を支援しています。

### ● 教育トレーナーの養成

職長・安全衛生責任者への教育を担当する講師を計画的に育成・確保するため、建設業労働災害防止協会の「職長・安全衛生責任者教育講師養成講座(新CFT)」を推奨し、修了した組合員には受講料を全額助成しています。

### ● 各種法定教育の実施

職長・安全衛生責任者教育、各種技能講習、特別教育を実施しています。



## 教育訓練事業

## 共 済 事 業

## その他事業

## 人材確保 育成事業

## 経営技術 指導事業

## 情報提供 事業

## 教育訓練 事業

## 福利厚生 事業

## 共同購買 (斡旋)事業

## 人材確保育成事業

### ● 無料職業紹介事業の展開

厚生労働省に無料職業紹介事業の届出を行い、組合員各社が個々に行う人材確保の活動を支援しています。

### ● PRパンフレット・DVDの製作

求職者に対する建設業や専門工事業等への理解促進を目的に、組合員の意見を取り入れながら各種パンフレット・DVDを製作しています。

### ● 組合ホームページの開設

職種紹介映像等のほか、組合員各社の紹介や求人情報のページを盛り込み、組合員と求職者を結びつけるツールとして活用されています。

### ● 現場見学会・体験会の開催

高等学校や工業系専門学校の教師・生徒や建設業を志望する求職者等を対象に現場見学会・体験会を開催しています。



## 経営技術指導事業

### ● 協力会社改善事例発表会の開催

現場業務の改善や企業経営に関する取組みを発表しています。

### ● 鹿島幹部との意見交換会

鹿島や協力会社が抱える課題について、鹿島の役員をはじめ、幹部社員との率直な意見交換を定期的・継続的に実施しています。

### ● 「青年部(通称:鹿世会)」の活動

次世代を担う若手経営者や後継者による自己啓発的な活動を推進しています。(P9参照)

### ● 経営講演会の開催

各界の著名人を招いて講演会を開催し、将来への示唆となる情報を提供しています。



## 情報提供事業

### ● 機関誌 「いしずえ」の発行

通巻190号を超える機関誌で年間4回発行しており、経営・施工技術・鹿島関連の様々な情報を掲載しています。



### ● 職種別協力会社情報交換会の開催

全国から専門工事業者(鳶・土工、大工、鉄筋、左官、内装・塗装)が集まり、職種毎に各地の情報を交換しています。

### ● 財務分析サービス(FANASUS)

財務診断結果の提供により、企業経営を支援しています。



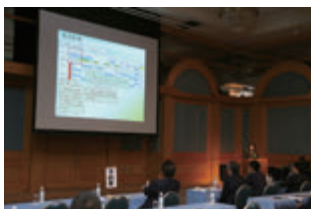
# 特徴のある活動

## 経営技術指導事業

### 施工力向上のために

#### 協力会社改善事例発表会

鹿島の各現場及び協力会社の店社における業務改善活動を通じ、施工水準の向上並びに企業体質の革新を図ることを目的として、1981年以降、毎年開催しています。鹿島・鹿島事業協同組合・鹿栄会の共催であり、全国発表会では、全国各地（鹿島の支店毎）の予選会で選ばれたグループが、各単協の代表として改善事例を発表します。また、質疑を通して意見交換も行われ、相互啓発の場ともなっています。



### 共存共栄のために

#### 鹿島幹部との意見交換会

鹿島と鹿島事業協同組合との意思疎通の円滑化を目的として、定期的・継続的に開催しています。様々な課題や問題に対して、それぞれの立場から率直な意見交換を行うことにより、高いレベルでの共存共栄の実現を目指しています。



## 教育訓練事業

### 受講支援のために

#### 各種法定教育の実施

鹿島と連携して労働安全衛生法により定められた職長・安全衛生責任者教育、技能講習、特別教育といった各種教育を、事業主に成り代わって行っています。

教育は、鹿島の支店・営業所・現場等において開催しており、鹿島社員、鹿島事業協同組合の組合員並びに青年部の会員を講師として、熱のこもった教育が行われています。



### 技術者・技能者の育成のために

#### 富士教育訓練センター※1

高水準の品質やコストパフォーマンスによる他社との差別化を図るためには、計画的・安定的に人材の育成を図る必要があるとの認識から、富士教育訓練センターを利用した教育訓練の活用を推進しています。鹿島事業協同組合からの助成金※2の他、厚生労働省からも助成金が支給されます。

※1:国土交通省・厚生労働省の連携により所管された全国最大規模の建設技術者・技能者の育成施設  
※2:鹿島事業協同組合員が対象となります

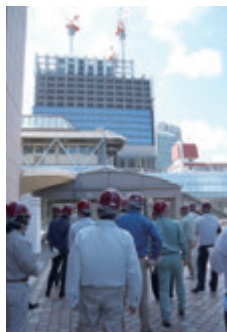


## 人材確保育成事業

### 将来の担い手確保のために

#### 現場見学会・体験会の開催

建設業に対する理解を促進するための活動として、高等学校・建設系専門学校の教師・生徒のほか、建設業を志望する求職者等を対象として、鹿島の協力の下、現場見学会・体験会を積極的に開催しています。



## 情報提供事業

### 安定した経営のために

#### 財務分析サービス (FANASUS)

財務管理能力の強化のため、財務分析診断 (FANASUS) の受診を推奨しています。FANASUS は提出された決算書のデータを分析し、経営面での問題点や改善点等を分かりやすく提示するもので、その分析結果は各企業にお届けします。

- 【メリット】
- ・自社の財務状況の的確な判断が可能になります。
  - ・次年度の利益計画が簡単に立案できます。



## 下部機関 青年部(鹿世会)の活動事例

青年部(鹿世会)は、鹿島の中核を担う協力会社の若手経営者や後継者で構成される組織です。各支部の青年部は、現場の鹿島社員(所長・工事課長クラス・若手など)との交流に加え、当組合が行う職長・安全衛生責任者教育などの運営や講師も担当するなど、当組合の活性化を図る上で欠かせない存在となっています。

### 東京鹿世会

#### 鹿島社員、他支部の鹿世会との交流

鹿島社員とのコミュニケーション活性化のため、東京土木支店・東京建築支店の幹部、安全環境部等関係部署と意見交換会を開催しています。今後もCCUSや担い手確保・重層下請構造改革などで意見交換会を実施します。また他支部鹿世会との交流については、新たな形としてTeamsなどを活用したWEB会議で情報交換を行い、全国各支部との連携強化を意識して活動しています。



Teams を活用した他支部との意見交換会

#### 明日の建設業を花咲かせるための「種蒔き」

東京土木支店・東京建築支店の協力を得て、ハローワーク及び首都圏各地の工業高校の先生方と連携し、モノづくりの実体験ができる体験会(技能体験アカデミー)を企画しています。また鹿世会会員の求人PR動画を作成し、Youtubeにて公開しました。各社の雰囲気が伝わり、入社したくなるような動画を制作しています。



体験会の様子



求人PR動画

### 関西鹿世会

#### 経営研修会の実施

次世代の経営者に向けた研修会では、外部講師を招き、毎回会員の資質向上に資するテーマを組み、有意義な研修に取り組んでいます。



#### 技能体験アカデミーの開催

大阪府・兵庫県の高校生、専門学校生を多く集め、建設業の魅力を知ってもらい、その仕事を体験してもらう技能体験アカデミーを開催しています。現場見学会の後、11職種、15専門工事会社による職種別の職業体験会を行っています。



#### 管外研修の実施

他支部の鹿世会と交流研修を行っています。他支店の現場における安全への取組み、労務事情や働き方改革への取組みについて学習することができます。







鹿栄会は、現場の安全を守るための災害防止活動を主な事業内容としており、鹿島と協力会社が一体となった活動を展開することにより、工事の円滑な運営に貢献しています。地域に密着した組織であり、地区ごとの特色を持った活動を通して、会員相互の連携を深めています。





# 鹿栄会 支部の活動内容



## 関東支部

7地区（茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨、長野、東部）に分かれ、さらには施工部会、青年部、トレーナー部会等の部会を有し、意志ある仲間たちと様々な活動を実施しています。

### 各地区会パトロールの実施

群馬地区会では月2回のペースで鹿栄会パトロールを実施し、自社の入場現場の自社工区はもちろん、他社他職種の工区もクロスチェックパトロールをすることで、安全衛生活動の向上を図っています。



### 会員相互の結束を図るための行事の開催

各地区会では、施工部会や青年部、トレーナー部会といった部会があり、勉強会の開催、鹿栄会主催行事の開催支援や法定教育の実施といった活動を通じ、会員相互の関係を深めています。

栃木地区会の施工部会では「営業」「土木」「建築」「安全」「事務」のそれぞれについて上期・下期の話題や目標などの伝達・周知を行っています。



## 横浜支部

協力会社 HP や独自制作 DVD を活用した安全啓蒙活動を展開しています。

### 安全週間メッセージ動画を協力会社HP上で配信

毎年6月に開催している安全大会について、新型コロナウィルス感染症蔓延に伴い、2020年度の開催を見合わせたことから、協力会社HP上に安全週間社長メッセージ代読及び支店長メッセージの動画を公開し、全鹿栄会会員に視聴いただきました。

社長メッセージ代読及び支店長メッセージに加え、所轄労働基準監督署長及び本社安全環境部長による安全講話も加えた内容にて協力会社HP上に公開する予定です。



### 「予定外作業」についてのDVD制作、配布による安全啓蒙活動

過去の予定外作業に起因する死亡災害事例と、どのような作業が予定外作業に該当するかを具体的に解説し、同時に、予定外作業発生時の正しい措置について説明する内容の安全啓蒙動画DVDを鹿島建設株式会社横浜支店と共同製作し、全鹿栄会会員へ配布しています。

会員各社には、横浜支店方針の「予定外作業発生時のルール遵守」の重点実施事項として、安全大会や安全協議会時のDVD視聴による啓蒙活動に取り組んでいただいています。



## 中部支部

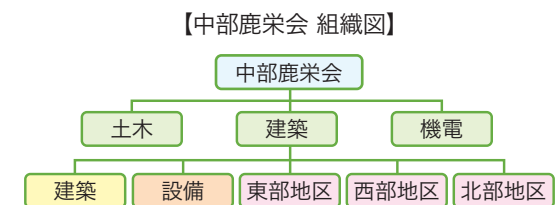
災害防止と将来の担い手確保を活動の柱に、様々な取り組みを行っております。

### 災害防止活動

中部鹿栄会は、3つの部会（土木、建築、機電）に分かれており、建築部会においては、建築・設備・東部地区・西部地区・北部地区の5つの分科会に分かれ、それぞれ独自の活動に取り組んでいます。

土木部会では年3回、建築部会では東部地区・西部地区・北部地区においてそれぞれ年6回（計18回）の現場安全パトロールを実施しています。この現場安全パトロールでは、他現場の鹿島担当社員や職長会メンバーも参加し、職長会の活性化を目指した積極的な交流を行っています。

また機電部会では、年5回の安全連絡会を実施しています。



### 将来の担い手確保に向けた活動

建築分科会においては、「将来の担い手確保」への取り組みとして、独自の活動を行っています。

工業高校の学生への課外授業

「未来の担い手」に建設業の魅力を直接伝える活動を推進

協力会社の次世代社員研修

日常業務と異なる体験を提供し、モチベーションUPを図る

協力会社職長の現場自主運営

鹿島・協力会社の双方にメリットがある生産性向上を目指す



## 中国支部

協力会社と一体となって「災害防止活動」を展開するとともに、「相互の親睦」を図っています。

### 部会・地区会の活発な活動

中国鹿栄会は土木部会・建築部会の2部会があり、建築部会にはさらにはKOKO会（岡山地区）、鹿広会（広島地区）、YAMAの会（山口地区）、KSドンの会（山陰地区）の4地区会に分かれて活動しています。

部会・地区会ごとに事業主教育・経営者勉強会や安全パトロールを行うとともに、入手工事の営業情報の交換なども行っています。



### ひざ詰め意見交換会の開催

2018年度から中国鹿栄会・鹿島中国事業協同組合の役員企業と支店幹部による「ひざ詰め意見交換会」を開催しています。

1回あたり10人程度の参加者で1か月間に集中して5回程度行い、直近では「原則二次までに限定した施工体制」についてなど、大人数ではなかなか聞けない「忌憚のない」意見交換を行っています。

